

2016 年 10 月 17 日

関係機関の長 各位

東京薬科大学
学長 笹津 備規
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学では、生命科学部 応用生命科学科 環境応用植物学研究室（仮称）教授を下記の要領で公募することになりました。

つきましては、貴機関関係者にご周知頂くとともに適任者をご推薦賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

記

東京薬科大学生命科学部は、日本で最初の生命科学部として 1994 年に発足し、本年設立 22 周年を迎えました。本学部では、分子生物学、化学、薬学、医科学、環境科学、工学、農学など生物に関連した広い教育・研究を行っており、卒業生は企業や大学の研究者、技術者として、また公務員や教員などとして各方面で活躍しています。

本公募では、光合成生物のバイオテクノロジーに関連する分野で、次世代の応用生命科学を切り開く最先端の研究を行い、顕著な業績をあげている人材を求めます。また、植物科学関連の講義経験を有し、私学における教育・研究と運営に熱心に取り組む方を望みます。なお、将来的に講義の一部を英語で実施する可能性があります。英語でより良い講義の実施を目指す方を求めます。

1. 公募の職名等

- (1) 職名及び人員：教授 1 名（常勤・任期なし）
- (2) 担当研究室：応用生命科学科 環境応用植物学研究室（仮称）
(現・環境応答植物学研究室には、准教授、講師、助教各 1 名が在籍しております)
- (3) 担当予定科目（分担科目を含む）：生物学、植物生理学、多様性生物学、
放射線関連科目などの講義、及び実習、卒業論文研究と大学院生研究指導

2. 応募書類

- (1) 履歴書（写真貼付）
- (2) 業績書（原著論文、総説、著書、学会発表等）
- (3) 科学研究費等外部資金の受領実績（過去 10 年間）
- (4) 主要業績の別刷またはコピー（10 編以内）各 1 部
- (5) 現在までの研究概要と今後の抱負（3000 字以内）
- (6) 現在までと今後の教育に関する理念と抱負（2000 字以内）
- (7) 推薦書 2 通
- (8) その他選考の参考となる資料（教育実績、学会活動、特許、社会への情報発信、
アウトリーチ活動、ティーチング・ポートフォリオ、アカデミック・ポートフォリオなど）。

注）(1), (2), (3), (7) は本学書式を参照のこと（本学 HP からダウンロード可）。

<http://www.toyaku.ac.jp/about/employment/teaching>

応募書類は返却致しません。封筒には「環境応用植物学研究室（仮称）教授選考応募書類在中」と朱書し、簡易書留またはレターパック 510、国外からは EMS 等でお送り下さい。なお、選考過程においてセミナー等を行って頂く場合があります。この際、旅費等は応募者負担とさせていただきます。

応募期限：2016 年 12 月 5 日（月）必着

着任時期：2017 年 4 月 1 日を予定

書類提出先：〒192-0392 東京都八王子市堀之内 1432-1 東京薬科大学 人事室 宛

問い合わせ先：東京薬科大学 人事室 Tel. 042-676-5358 E-mail:jinji@toyaku.ac.jp